

授業科目

小児言語障害学III

担当教員名 渡辺 時生	対象学年	3	対象学科	言語
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎			◎

授業の概要

脳性麻痺による障害は運動障害が主体であるが、近年の産科学や新生児医学の進歩により、重複障害が増えてきている。発声発語や摂食嚥下に限らず、知的発達から広くコミュニケーションへの関わりに変化してきた言語聴覚士の取り組みについて学ぶ。さらに、S-S法を中心に、言語発達障害に関する面接、検査、診断、治療の一連の流れを学習する。

授業の目的

脳性麻痺（運動障害、重複障害）に伴う言語聴覚障害を中心に、言語発達や発声発語の促進や拡大・代替コミュニケーションの導入などについて学ぶ。また、これらの評価方法を障害の特性および発達の観点から理解し、さらには指導の諸技法、指導のためのプログラムの立案、指導上の留意点について学ぶ。

学習目標

- 1 脳性麻痺の概要および運動特徴について理解する。
- 2 脳性麻痺に由来する言語聴覚障害の特徴を理解する。
- 3 脳性麻痺の言語訓練および援助の方法を学ぶ。
- 4 脳性麻痺を中心とした言語発達障害の治療・援助に必要な検査・診断技術を学ぶ。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	脳性麻痺とは（概論）	講義	渡辺 時生
2	脳性麻痺言語の発達障害・話ことばの特徴	講義	渡辺 時生
3	脳性麻痺言語の評価及び支援について	講義	渡辺 時生
4	S-S法の概要	講義	渡辺 時生
5	S-S法の構成	講義	渡辺 時生
6	S-S法を用いた診断	講義	渡辺 時生
7	S-S法の実際	講義	渡辺 時生
8	S-S法検査演習（1）	演習	渡辺 時生
9	S-S法検査演習（2）	演習	渡辺 時生
10	S-S法訓練（1）	講義	渡辺 時生
11	S-S法訓練（2）	講義	渡辺 時生
12	S-S法訓練（3）	講義	渡辺 時生
13	S-S法訓練（4）	講義	渡辺 時生
14	S-S法検査演習発表	演習	渡辺 時生
15	まとめ	講義	渡辺 時生

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	言語発達遅滞検査マニュアル	小寺富子（編著）、倉井成子（編著）、佐竹恒夫（編著）	エスコアール	1998年	4,500円＋税	
参考書	言語発達遅滞訓練マニュアル〈1〉	佐竹恒夫、小寺富子、倉井成子 他	エスコアール	1995年	2,500円＋税	
	言語発達遅滞訓練マニュアル〈2〉	佐竹恒夫	エスコアール	1995年	3,800円＋税	

	言語聴覚療法臨床マニュアル	小寺富子（監修）	協同医書出版	2004年	6,800円+税	
その他の資料						

評価方法

レポート 20%
定期試験 80%

履修上の留意点

他関連科目（小児言語障害学演習）と有機的な結びつきをもち、演習を行う。

オフィスアワー・連絡先

月曜日 12:10～13:10
tokio-w@nuhw.ac.jp